

# 橋梁技術発表会 講演会

参加費  
無料

定員  
200名

申込  
先着順

及び

# 講演会



新型コロナウイルスの感染拡大により中止となる可能性があります。

第1部 技術発表	13:00~13:10	開会の辞 (一社)日本橋梁建設協会 会長 川畑 篤敬
	13:10~13:50	① 被災した橋梁の撤去 ~川島大橋上部工の撤去事例~ 架設小委員会
	13:50~14:00	休憩
	14:00~14:40	② 鋼コンクリート合成床版、PC床版の手引き改訂について ~鋼コンクリート合成床版、PC床版の設計施工、 維持管理手引き改訂の説明~ 床版小委員会
	14:40~14:50	休憩
第2部 特別講演	14:50~15:50	高耐久性鋼橋の実現に向けて 大同大学准教授 宮崎 靖大
	15:50~16:00	閉会の辞 (公社)土木学会中部支部 支部長 牟田 広繁



日時  
令和5年 **11月10日(金)**  
13:00~16:00

資料配布 会場では配布いたしません。必要に応じてWebサイトより出力し持参願います。

会場 **名古屋市中小企業振興会館**  
(吹上ホール) 7Fメインホール  
名古屋市千種区吹上2-6-3



申し込み Webサイト <https://www.jasbc.or.jp/>  
受付は令和5年10月10日~10月31日  
※申し込みは、Webサイトからのみです。

連絡先 一般社団法人 日本橋梁建設協会 中部事務所  
〒475-0826愛知県半田市神明町1-1 瀧上工業(株)内  
TEL 0569-47-6651

継続教育 CPDS対象

開催地区 ●東京地区:10月13日(金) ●中部地区:11月10日(金)  
●大阪地区:10月20日(金) ●九州地区:11月17日(金)  
●北海道地区:10月27日(金) ●東北地区:12月4日(月)  
(6地区開催ですが、発表テーマは異なります)

●地下鉄桜通線「吹上駅」下車 5番出口より徒歩5分

## 1 被災した橋梁の撤去

本工事は、豪雨による出水にて被災した橋梁を架け替える災害復旧事業の内、橋梁上部工を撤去する工事です。

工事の特徴として、橋梁通行止めによる近隣住民への影響の大きさから緊急性が求められ、倒壊の可能性がある状態で作業を行うことから専門性も求められました。また、出水期や非出水期、休日や夜間にかかわらず作業を行う必要性があった事も特徴になります。

撤去方法は、比較的、一般的な工法を用いています。ただ、突然に降って湧いた工事であったため、監督員や職員等の人材不足のまま少人数で協議から計画、作業を行っています。本工事は、少人数で短期間に実行できた事が大きな成果だと感じています。

本発表では、上部工撤去の方法に至った経緯と撤去内容について報告します。

## 2 鋼コンクリート合成床版、PC床版の手引き改訂について

H29道路橋示方書の改定にともない、床版小委員会では、鋼コンクリート合成床版の設計・施工の手引き、維持管理の計画資料(改訂第2版)(2021年1月)、PC床版設計の手引き(改訂 第3版)(2021年10月)、PC床版施工の手引き(場所打ちPC床版編)(改訂第2版)(2022年8月)の改訂作業を進めてまいりました。

H29道示で部分係数設計法へと大きく設計体系が変わったことから、鋼コンクリート合成床版とPC床版の設計手引きについても大幅な改訂を行うとともに、設計例などを示し、設計の流れなどが理解しやすいよう、つとめました。鋼コンクリート合成床版の維持管理の手引きについてもH31橋梁定期点検要領改定を意識した点検マニュアル(案)を記載しました。PC床版施工の手引き(場所打ちPC床版編)については、基準改定に伴う記載の変更に加え、固定式保工の計算やPC鋼材の緊張要領・管理方法などに関する記述の充実をはかりました。本発表では、これらについて概説するものです。

### 特別講演会 講演者紹介

大同大学准教授

宮崎 靖大

#### 講演テーマ

## 高耐久性鋼橋の実現に向けて

#### 【略歴】

平成15年 3月 大同工業大学工学部建設工学科 卒業  
 平成17年 3月 岐阜大学大学院工学研究科博士前期課程 修了  
 平成20年 3月 大阪大学大学院工学研究科博士後期課程  
 単位取得退学  
 平成20年 4月 大阪大学大学院工学研究科特任研究員  
 平成22年 3月 大阪大学大学院工学研究科博士後期課程 修了  
 博士(工学)  
 平成23年 4月 長岡工業高等専門学校環境都市工学科助教  
 平成25年 4月 長岡工業高等専門学校環境都市工学科准教授  
 令和 5年 4月 大同大学工学部建築学科准教授 現在に至る

【専門分野】 鋼構造、構造工学、橋梁工学

#### 【講演概要】

一般的な鋼橋の塗装の塗替え作業は、橋梁部材または部位によって煩雑となる。一方、無塗装耐候性鋼材を用いることにより、これらの維持管理が軽減されるものの、飛来塩分量などにより架設可能な地域が限定されることも否めない。ステンレス鋼は、炭素鋼に比べて優れた耐食性を有しており、橋梁に用いることで、長期間供用における維持管理を削減することができるといえる。本講演では、ステンレス鋼製部材の活用について紹介する。

令和5年度

橋梁術発表会

中部地区

11月10日(金)

参加申込方法▶



一般社団法人 日本橋梁建設協会  
Japan Bridge Association

ホームページよりお申込み下さい。

<https://www.jasbc.or.jp/>

「技術発表会」  
の申し込みはこちら。